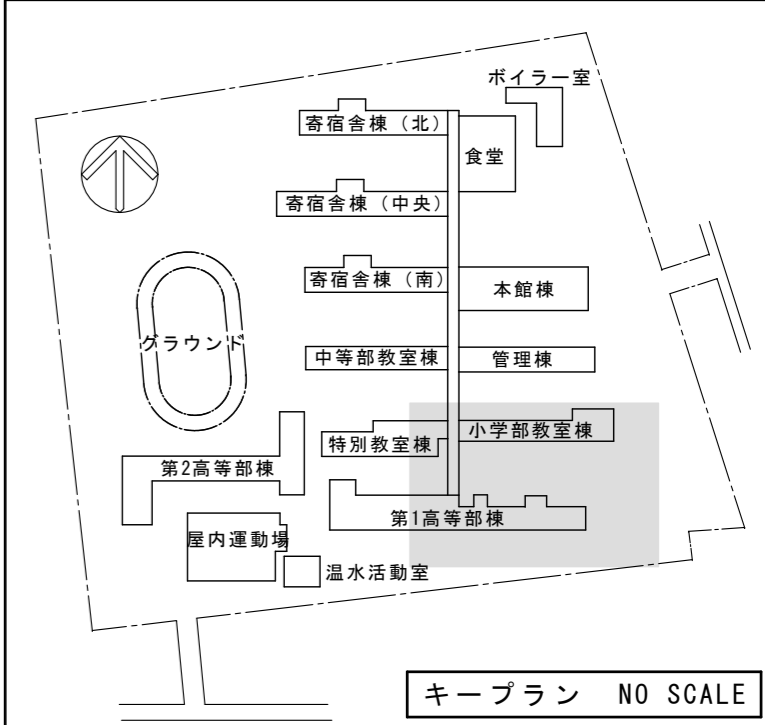
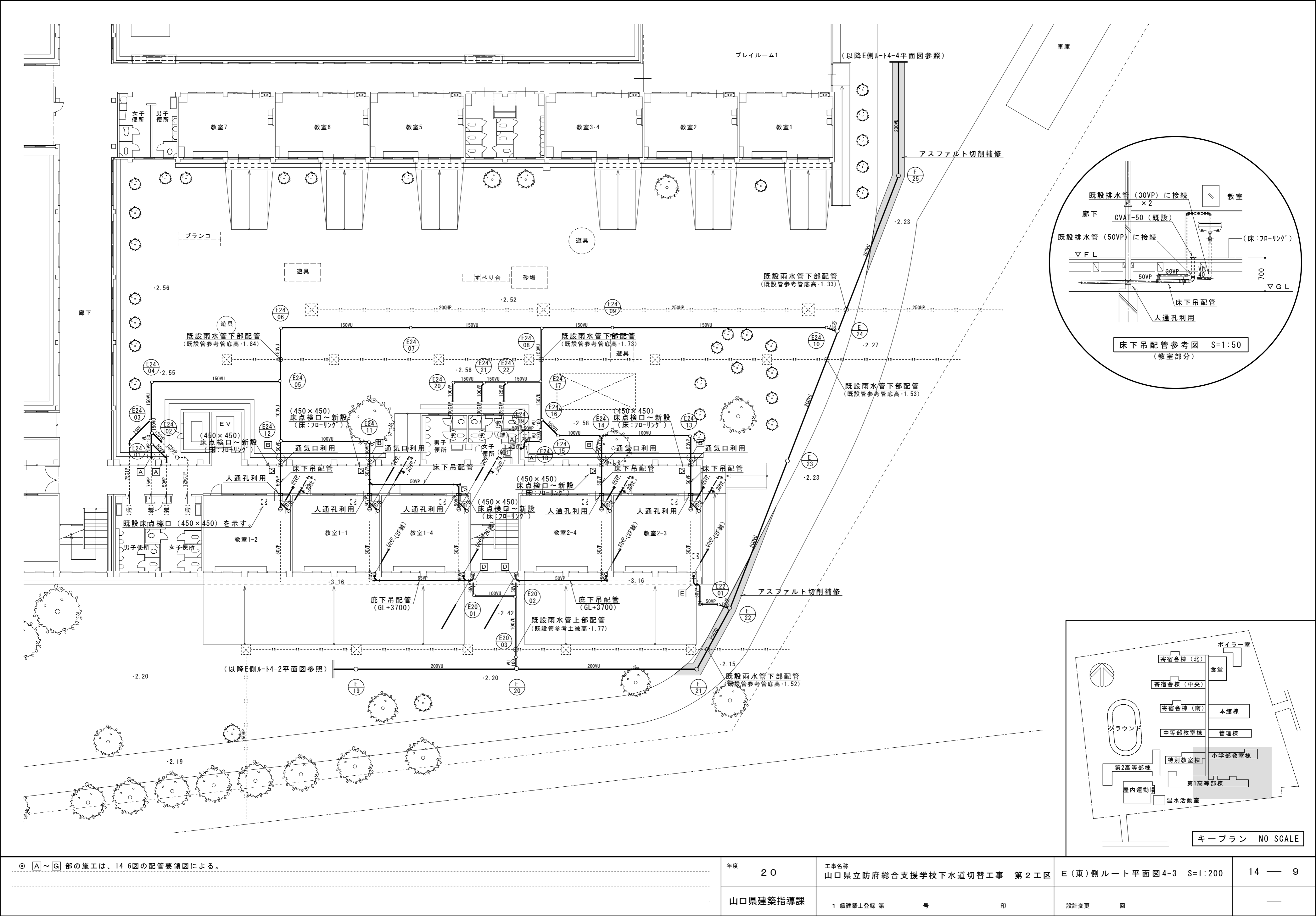
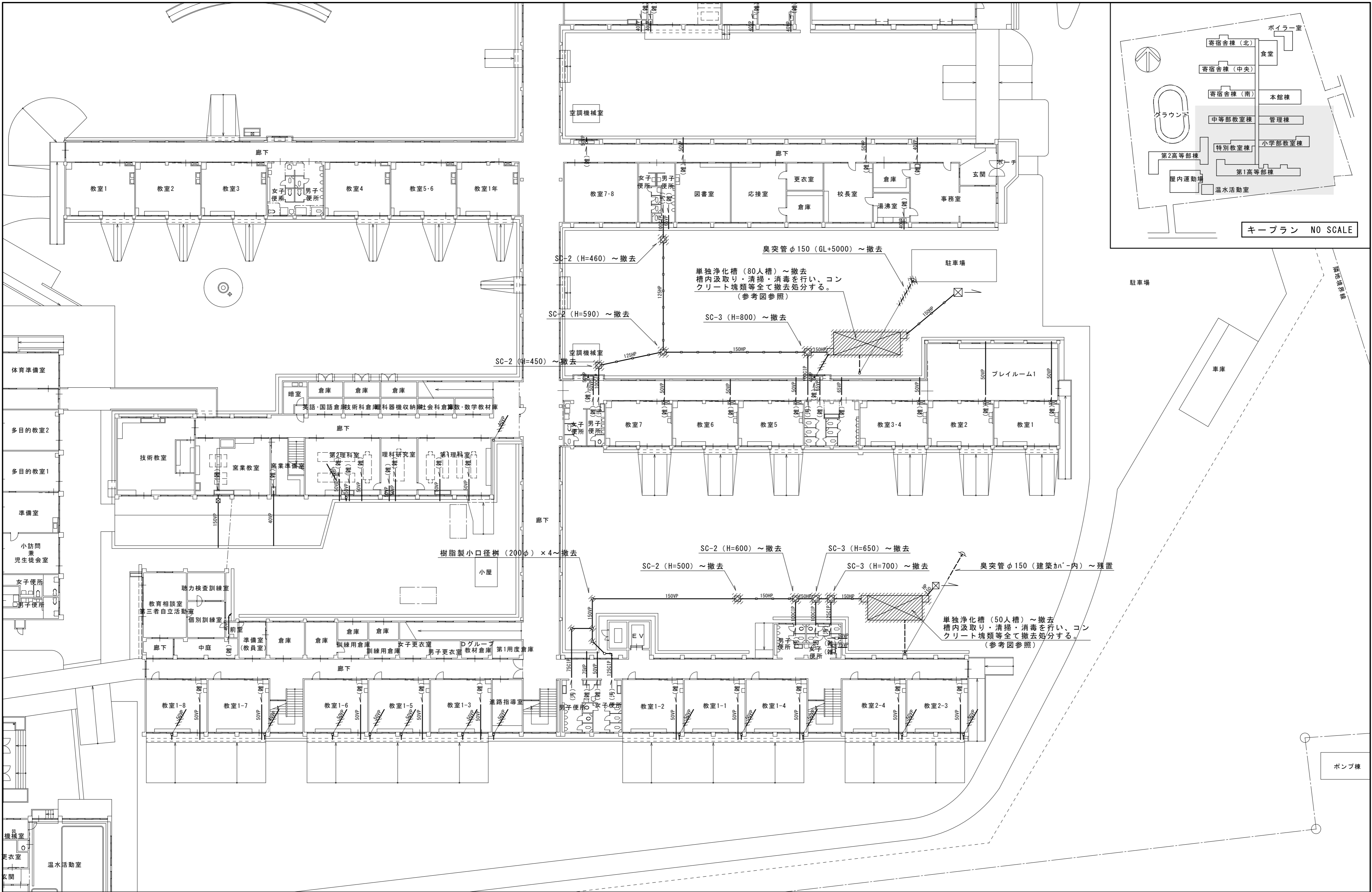


<div>変更</div> <div>・既設給水バルブの取替、及び給水バルブの新設(B0X共)</div>	<div>年度</div> <div>20</div>	<div>工事名称</div> <div>山口県立防府総合支援学校下水道切替工事 第2工区</div>	<div>給水管配管図 S=1:700</div>	<div>変更図</div>
	<div>山口県建築指導課</div>	<div>1級建築士登録 第 号 印</div>	<div>設計変更 1 回</div>	<div>7 — 7</div>



○ [A]～[G] 部の施工は、14-6図の配管要領図による。	年度	2 0	工事名称	山口県立防府総合支援学校下水道切替工事 第2工区	E (東) 側ルート平面図4-3 S=1:200	14 — 9
	山口県建築指導課	1 級建築士登録 第 号	印	設計変更 回		



	年度 2 0	工事名称 山口県立防府総合支援学校下水道切替工事 第 2 工区	下水道切替前 平面図3-2 S=1:300 (撤去図)	14 — 12
	山口県建築指導課	1 級建築士登録 第 号 印	設計変更 回	—

給水バルブプラグ止め以降配管撤去

流入槽

第一腐敗槽

第二腐敗槽

濾過槽

平面酸化槽

放流槽

消毒槽

W (本体幅)

L (本体長さ)

平面図 S=1:50

全てを解体・撤去処分

150

▽ G L

H 1

第一腐敗槽

第二腐敗槽

濾過槽

平面酸化槽

消毒槽

H 2

150 50 200

断面図 S=1:50

(タテ・ヨコ) 9φ-200@ダブル

※単独浄化槽（計4基）～撤去
槽内汲取り・清掃・消毒を行い、コンクリート塊類等全て撤去処分する。
撤去処分後は、配管土工事による掘削土にて埋め戻し、整地する。

単独浄化槽参考寸法リスト

人槽	W (本体幅) (mm)	L (本体長さ) (mm)	H 1 (mm)	H 2 (mm)
20	3,000	7,400	1,800	600
30	3,700	5,300	1,800	600
50	3,000	6,600	2,100	900
60	3,300	7,200	1,900	700
70	2,600	5,800	2,200	700
80	2,800	8,100	2,500	1,000
170	3,400	11,300	2,600	800

3,100

7,100

平面図 S=1:50

全てを解体・撤去処分

50

▽ G L

2,500

150 60 250

断面図 S=1:50

※FRP製合併浄化槽（30人槽）～撤去
槽内汲取り・清掃・消毒を行い、本体、コンクリート塊
機器類等全て撤去処分する。
撤去処分後は、配管土工事による掘削土にて埋め戻し、
整地する。

200

▽ G L

2,350

150 60 250

断面図 S=1:50

(タテ・ヨコ) D13-@200ダブル

6-φ300

6-D13
(H00P) D10-@200

(タテ・ヨコ) D13-200@ダブル

フロー

流入BOD
200 ppm

沈殿分離槽第1室

沈殿分離槽第2室

接触ばつ気槽

沈殿槽

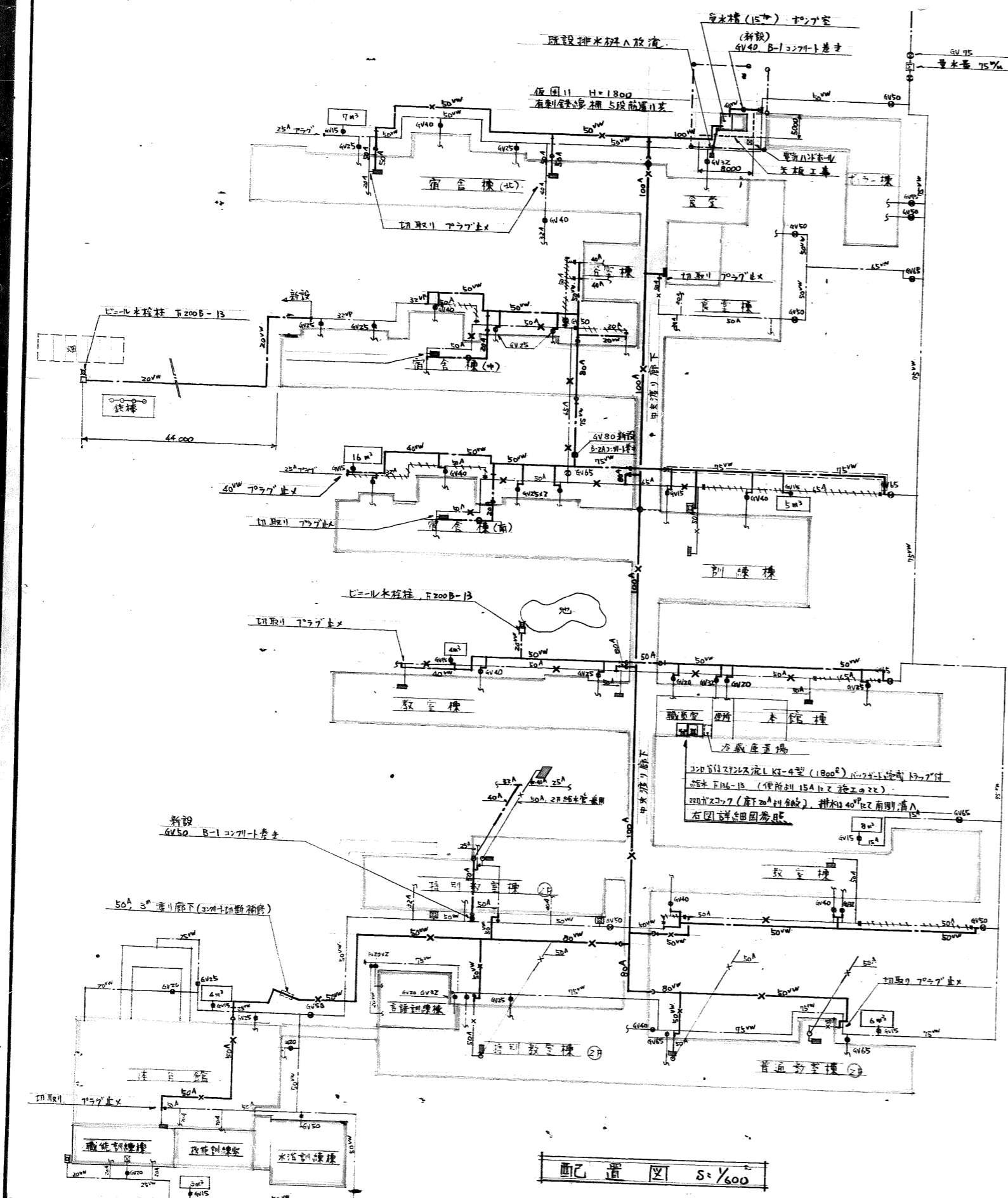
消毒槽








放流BOD
20 ppm

汚泥移送

フローシート

注



1.  新設給水管 消火管
2.  新設 " "
3.  既設給水管 (自ガス管) を 消火管として 使用
4.  " " 埋設し部分 (両端テラフエキ)
5.  新設給水管 アスファルト切断補修部分 (現行使用品とする)
6.  既設消火栓ボックス (全て既設品使用)
7.  コンクリート壁 貫通部分 の 200 程度 (スリット補修)
8. 中央廊下廊下配管詳細図参照。土中埋設の銅管は、防錆テープを巻く
9. 給水管の屋外配管は硬質塩化ビニル管 (赤カ6742)、屋内配管は塩化ビニルパイプ金網管 (W40) とする
10. 消火管の " " " " 自ガス管 (JISG 3452) とする
11. 外部給水管からの分岐はバルブと同日径にて施工の2点、延長6V15A9配管は20"、6V32Aは40"に引き
12. 芝内配管布設は、芝取除きの工振方を行ない、配管完了後、芝張りつけの2点
13. 保温工事の仕様は、山形県機械設備工事標準詳細図集(52年度版)に準じ施工の2点
14. 外部埋設配管は、600H埋深し、点圧は十分注意し、石等を取り除く2点。

